



# 美しい三河湾をとりもどそう

～次世代に引き継ごう、青い海～

問合せ 環境課 ☎66♦1122

一 三河湾は、渥美半島と知多半島に囲まれたおだやかな内海で、一帯は国定公園に指定され、古くは、交通の拠点、豊かな漁場として重要な役割を果たしてきました。最近では、臨海工業地域としての役割のほか、釣り、潮干狩り、マリンスポーツなど、市民の皆さんや観光客に親しみある憩いの場になっています。

しかし、三河湾の平均水深は、9mと浅く、湾口も狭い閉鎖性の海域のため、海水が入れ替えにくく、汚泥物質が蓄積しやすくなっており、海水の富栄養化が進み、赤潮や苦潮が多く発生しています。

こうした海の汚れの主な原因は、台所、洗たくなど家庭から出る生活排水や工場、畜産などの産業系排水です。そのうち家庭からの生活排水が57%を占めています。そして、その割合は年々増加し、海の汚れは進んでいます。

生活排水が、海に流れ込むとプランクトンが増殖し、海水が赤茶色になる赤潮が発生します。また、プランクトンがたくさん発生すると、魚たちが呼吸できずに死んでしまうため、死骸となったヘドロが海底に堆積され、

苦潮の原因をつくります。私たちの住む蒲郡沖を水の汚れの指標であるCOD値で見ると次の表のとおりです。

※CODとは、主として有機物による水の汚濁を示すもので、数値が大きいほど水質が悪い。

地点名	H16	H17
三谷温泉沖	4.0	4.6
三谷漁港沖	3.6	4.4
竹島東	3.5	4.5
蒲郡西港内	3.4	4.5
竹島沖	3.1	4.7
浜町地先	3.3	4.1
北浜団地沖	3.0	3.9
形原漁港沖	3.3	4.1
西浦温泉沖	2.8	3.5
捨石水面貯木場	4.0	4.7
ラグーナ蒲郡沖	4.3	4.1

一方、湾内が外海に広く開いた駿河湾を見てみると、外海との海水交換で陸からの生活排水などの物質が長く停滞しないため、COD値は年平均0.5から2.0で推移しています。これからもわかるように、かつて、美しかった三河湾は、本来の海の機能を失いつつあるのです。

青い海、美しい三河湾を次世代に引き継ぐために、わたしたち一人ひとりが生活排水の影響の大きさを知り、海を汚さないよう心がけましょう。

## 生活排水対策

- 目の細かい水切りネットや三角コーナーを使い、調理くずや食べ残しを流さないようにしましょう。
- 食器やなべの油污れは、紙やヘラを使い、ふき取ってから洗いましょう。
- 各種洗剤は、使い過ぎないように注意しましょう。
- 1回目の米のとき汁は、庭の木や畑にまいて利用しましょう。
- 残った揚げ油は、できるだけ使い切るようにして、捨てるときは、新聞紙やぼろ布などに染み込ませて生ごみと一緒に捨てましょう。
- お風呂の残り湯は、洗たくや掃除に再利用しましょう。
- 下水道への接続や合併処理浄化槽への切り替えを行い、直接生活排水を川へ流さないようにしましょう。